

# 令和7年第3回周南市議会定例会一般質問通告一覧表

(令和7年6月5日～6月10日)

---

## 1 友田秀明（幸友会）

### 1 民間企業の株式取得について

- (1) 岩徳線の継続運行等を考えたとき、市がJR西日本の株主になることで、より重みのある要望をすることができる。JR西日本の株式をぜひ購入すべきと思うがどうか。
- (2) 同様に、市が地元企業の株式を購入することで、例えば、周南公立大学卒業生の地元定着による地域の活性化や、コンビナート災害等の危機事態に迅速な対応ができると考える。第3次周南市まちづくり総合計画に掲げる様々な施策を着実に推進する上で、検討する価値があると思うがどうか。

### 2 災害対策や危機管理体制について

- (1) 5月13日に周南市防災会議が開催された。市民生活を脅かす災害等の危機事態が発生した場合に市が取り組む危機管理体制について、本市の現状はどうなっているのか。市長部局・消防本部・教育委員会・上下水道局等全庁的かつ広範囲に及ぶと思うが、本市の現在の取組と市長の考えを問う。

---

## 2 遠藤伸一（公明党）

### 1 カスタマーハラスメント対策について

- (1) カスタマーハラスメントが社会問題として広く認識されている。市役所での発生実態と対策について、以下を問う。
  - ア 実態把握はしているのか。
  - イ カスタマーハラスメント対応マニュアルの作成は。
  - ウ 被害相談後のフォロー体制はどうなっているか。
  - エ 録音機能付きの電話を設置してはどうか。
- (2) 令和2年には厚生労働省により「事業主が職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針」が策定され、令和7年4月1日には東京都、北海道、群馬県においてカスタマーハラスメントの防止条例が施行されるなど、条例制定に向けた機運は全国的に高まっていると言えるが、市の考えは。

### 2 施設の快適性向上と環境配慮について

- (1) 市民の健康を守る熱中症対策やマイボトルの利用促進による環境への配慮を目的に、市役所をはじめ、陸上競技場、道の駅ソレーネ周南等の新たに整備する予定の公共施設に給水スポットを設置してはどうか。

### 3 難聴高齢者に対する支援について

- (1) 軽度・中等度の難聴高齢者に対して補聴器購入費用の一部を助成する制度を設けてはどうか。

### 3 服部恭弥（志高会）

#### 1 公共空間の未来を見据えた街路樹と舗装の整備について

- (1) 老朽化したブロック舗装や街路樹の根上がりによる段差への対応について、安全性確保の観点からの今後の整備方針を問う。
- (2) 景観舗装材を使用するなどの景観を維持しつつ、安全性と管理性を高めた新たな舗装手法があるが、その導入状況と今後の方針は。
- (3) 街路樹の更新や植え替えの際における、近隣住民意見の反映体制、また必要性や樹種選定を含めた地域に根差した再整備の在り方について問う。
- (4) 高齢化によって困難さが増している街路樹の落ち葉清掃対策と、今後の管理負担軽減に向けた市の取組は。

#### 2 災害時の要配慮者に対する支援について

- (1) 福祉避難所について協定を結んでいる施設との連携状況は。
- (2) 要配慮者支援等の協力に関する協定、相互連携に関する協定を結んだ団体との平常時の連携状況は。

#### 3 周南市地域クラブについて

- (1) 地域クラブに登録されている団体の活動における現状と課題について、以下を問う。
  - ア 参加費について。
  - イ 活動場所や活動形態について。
  - ウ 実施種目について。

---

### 4 貞本昌也（未来ラボ）

#### 1 中山間地域の持続可能性の維持・向上に向けた取組について

- (1) 農家戸数の減少や農業従事者の高齢化等が進行しており、農業の持続的な発展や農地の多面的機能の維持ができるか不安視されている。そこで、中山間地域の農業の持続可能性について、以下を問う。
  - ア 現状と課題をどう認識しているか。
  - イ 課題解決に向けた具体的な取組は。
  - ウ 圃場だけではなく、用水路も含めた維持管理の持続が困難になってきており、市が支援する仕組みが必要となってきたらと考えるがどうか。
- (2) 急速な高齢化や過疎化の進行等により、地域コミュニティの維持・存続が危ぶまれている。そこで、地域コミュニティの維持について、以下を問う。
  - ア 現状と課題をどう認識しているか。
  - イ 課題に対する具体的な取組は。
- (3) 農業やコミュニティの維持に向けた取組として、担い手の確保に移住促進の取組が重要だと考える。そこで、以下を問う。
  - ア 移住希望者に選ばれるためには住居の確保が必要であることから、地域にある市営住宅の空き部屋などの有効活用ができないか。

#### 2 積雪対策について

- (1) 本年2月上旬に発生した大雪による積雪被害について、以下を問う。
    - ア 具体的な被害状況及び具体的な対応は。
    - イ 鹿野総合支所には小型除雪機が1台配備されているが、稼働状況は。
    - ウ 鹿野総合支所の小型除雪機を増設し、中山間地域や周辺部の積雪状況によっては、弾力的な運用を検討することはできないか。
- 

## 5 西尾孝夫（市民の会）

### 1 就学援助制度について

- (1) 就学援助制度について、以下を問う。
  - ア 申請率が毎年減少する中で、本市の新たな取組はあるか。
  - イ 対象となる年収モデルを配付物等に記載し、周知を図ってはどうか。
  - ウ 就学援助制度のオンライン手続の開始について、優先順位はどう考えているか。
- (2) 物価高騰の影響下で、需要額の1.3倍という本市の基準の正当性についてどう考えているか。

### 2 児童クラブの民間委託について

- (1) 研究の進捗状況はいかがか。
- (2) 今後の児童クラブの在り方を問う。

### 3 中学校部活動の地域移行について

- (1) しゅうなんコミュニティクラブについて、以下を問う。
  - ア 活動中の事故等への対応はどうするのか。
  - イ 他校区のクラブとの交流についてどのように考えているのか。
- (2) 自転車通学を可とし、離れた地域クラブへ移動できるように検討してはどうか。

### 4 コンパクト・プラス・ネットワークの取組について

- (1) 各地域都市拠点について、以下を問う。
    - ア 住民が生活していく上で、各地域都市拠点の将来像を示す必要があると思うがどうか。
    - イ 地域都市拠点への住替えに対する補助等についてどのように考えているのか。
- 

## 6 古谷幸男（幸友会）

### 1 物価高騰の影響について

- (1) 市民からの相談、要望はないか。
- (2) 学校給食などへの影響はないか。
- (3) 米不足・値上がりの市民への影響はどのような状況か。
- (4) 市財政への影響はないか。

### 2 公共施設再配置について

- (1) 公共施設とは何か。
- (2) 管理運用等の基本的な取扱いについて、行政財産と普通財産でどのような違いがあるのか。
- (3) 地域住民の要望により利用する場合の手続について、行政財産と普通財産でどのような

違いがあるのか。

(4) 指定管理者制度はどのような場合に導入するのか。

(5) 周南市公共施設再配置計画の見直しについて、基本的な考え方を問う。

---

## 7 佐々木照彦（未来ラボ）

### 1 下水道管路の老朽化対策について

(1) 令和7年1月の埼玉県内での下水道管路の破損事故を踏まえ、本市でも下水道管路の緊急点検を実施したとのことだが、市民の関心は高く、老朽化した管路の計画的で適切な維持管理・更新が望まれる。また、災害に強く持続可能な上下水道の構築に向け、令和7年度から10年間の周南市上下水道耐震化計画が策定されたところである。そこで、下水道管路の老朽化対策について、以下を問う。

ア 現状と課題は。

イ ウォーターPPPの取組についての考えは。

### 2 公園の利用について

(1) 遠石緑地は、緩衝緑地だが商業施設に隣接しており、市民が定期的に利用している。また、周陽公園は、様々なスポーツに親しむ市民が利用している。今後、それぞれの公園をどのように維持管理していくのか。

(2) 周南市公園施設分類別計画においては、今後の施設の方向性の一つとして、バリアフリー化及びユニバーサルデザインの推進を掲げている。こうしたことから、周南緑地内にある周南フレンドパークにインクルーシブ遊具を設置してはどうか。

### 3 斎場の利用について

(1) 令和7年4月1日から周南地区衛生施設組合斎場が供用開始し、本市は1市2制度となった。斎場の利用について、どのように市民に広報したのか。また、市民からどのような声が上がっているのか。

---

## 8 小池一正（公明党）

### 1 認知症の人と共に生きるまちづくりについて

(1) 新しい認知症観を普及・定着させるためには、目指す姿（イメージ）をどのように市民に周知すべきと考えるか。また、従来の古い認知症観と比較してどのような違いがあるか。

(2) 認知症を正しく理解するために、認知症の方の行動を実際に体験できるプログラム等が必要であると考えがどうか。

(3) 認知症と共に生きるフレンドリーなまちづくりを推進する施策について、以下を問う。

ア 認知症の人が地域で交流し、発信する機会を広げるためには、多様な認知症カフェが必要と考える。設置に向けた本市の考えは。

イ 認知症サポーターがチームを組み、具体的な支援を図るチームオレンジの構築のために、周南市チームオレンジ事業実施要綱や活動の手引マニュアルを作成してはどうか。

(4) 認知症の人とのコミュニケーションで注目される「ユマニチュード」のケア技法を市民に普及する考えはあるか。

- (5) 本市で建設・改修する公共施設において、福岡市が取り組む「認知症の人にもやさしいデザイン」の導入を考えてはどうか。
- 

## 9 小林正樹（自由民主党周南）

### 1 5歳児健診について

- (1) 国は5歳児健診の普及に向け、自治体への財政支援や必要な技術的支援を進めているが、5歳児健診を導入することについて、課題や市の考えを問う。

### 2 消防職員及び消防団員の活動について

- (1) 消防職員のよりよい活動につなげるために、以下を問う。
- ア 猛暑時期における消防職員の熱中症対策に課題や改善すべき点はあるか。
  - イ 屋外等で活動する際にサングラスの着用は認められているか。
- (2) 今年度から進める実証事業について、以下を問う。
- ア マイナ救急の実証事業について、その内容と実際の救急現場において期待される効果は。
  - イ アドレナリンの投与拡大に向けた実証事業について、どのように進めていくのか。
- (3) 災害現場で活動する消防団員の育成、特に若手団員の育成について、今後の方針は。

### 3 市民センターの利便性向上について

- (1) 地域づくり活動の拠点としての市民センターに求められる基本姿勢や、果たすべき役割は。
- (2) 周南市市民センター条例第3条に規定されている「(1) 地域づくりの支援に関する事業」の内容について、以下を問う。
- ア どこまでの範囲を支援の対象としているのか。
  - イ 地域住民のニーズや実情に沿って、より柔軟な対応を望む声があるがどうか。
- (3) 市民センターにおける指定管理者制度はうまく機能しているか。また、今後の方向性は。
- (4) 周南市市民センター条例第9条において、使用料は前納しなければならないと規定されているが、冷暖房使用料や附属設備等使用料については、実績に応じた支払いを可とするよう早急に条例改正すべきと考えるがどうか。
- 

## 10 小林雄二（市民の会）

### 1 女性活躍推進の取組について

- (1) 男女雇用機会均等法制定から40年が経過し、法制度の整備は進展したが、なお職場での男女平等には問題が多いようである。女性活躍推進法は、女性活躍に向けた事業主行動計画の策定・公表を各事業主に義務づけており、地方公共団体には、地域の一般事業主をリードする行動計画の策定が求められている。そこで、以下を問う。
- ア 第3次周南市男女共同参画基本計画（すまいるプラン周南）における目標指標、その取組状況及びその評価をどのように市民に公表しているのか。
  - イ 女性活躍推進法に基づく本市の特定事業主行動計画に掲げる目標の達成状況はどうか。
  - ウ 女性活躍推進法に基づく本市の特定事業主行動計画の計画期間は、令和8年3月

3 1日までとなっているが、以降の取組についての行動計画はどうか。

## 2 放課後子供教室について

(1) 放課後子供教室は、子供たちが放課後を安全安心に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、地域住民等の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として、学習や体験・交流活動などを行う事業とされている。そして、放課後子供教室と児童クラブを一体的または連携して実施する方向性も出されている。本市の現状について、以下を問う。

ア 各学校の放課後子供教室と児童クラブ一体型教室の現状と方向性についてはどうか。

イ 放課後子供教室を担う協働活動サポーターの高齢化が進んでいることから、今後の課題として、幅広い経験を有する新たな地域人材の確保を進めていくことが必要とされているが、どこがリーダーシップを取ってやっていくのか。

ウ 放課後子供教室を担う協働活動サポーターの身分はどうなっているのか。

## 3 小中学校の水泳授業について

(1) 水泳の授業は、小学校において「楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付ける」ことが、中学校においては「記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付ける」ことを目的とされている。しかしながら、全国的には学校プールが減少しており、本市においては水泳授業の実施に当たって、学校プールの老朽化が進む中、将来的に周南緑地新水泳場や民間プール等の活用を視野に、民間プールを活用した授業の実証研究に取り組むとしているが、水泳授業について、以下を問う。

ア 民間プールを活用した水泳授業の実証研究の成果はどうか。

イ 各小中学校の水泳授業の現状はどのようになっているのか。

ウ 令和9年4月に周南緑地に新水泳場が供用開始する予定となっているが、近隣の学校との共有化や、民間のプールを活用するといった選択肢を検討するとの答弁があったが、学校プールでの水泳授業を含め、今後どのように考えていくのか。

---

## 1 1 古賀洋子（志高会）

### 1 利用しやすい市営住宅について

(1) 市営住宅の状況について、以下を問う。

ア 昨年度より、周南公立大学に在籍している学生に対して市営住宅への入居対応を行っているが、利用状況はどうか。

イ 高齢者・障害者・子育て世帯・独り親家庭が安心して暮らせる市営住宅の実現に向けて、どのような取組を行っているのか。

ウ ペットと同居できる市営住宅について、市の見解は。

### 2 公園や学校施設の遊具の点検状況について

(1) 遊具の点検状況について、以下を問う。

ア 遊具の設置数と主な設置場所は。

イ 点検の頻度は。

- ウ 点検結果と対応は。
  - エ 事故や苦情への対応は。
  - オ 安心安全に遊具を利用するための今後の取組は。
- 

## 1 2 吉安新太（志高会）

### 1 不登校対策について

- (1) 文部科学省が策定したCOCOLOプランにおいて、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」とあるが、本市ではどういう取組をしてきたのか。
- (2) 周南市こどもまんなか宣言の中に「こどもが誰一人取り残されることなく」とあるが、不登校児のいる家庭では、「取り残されている」と感じていると聞く。取り残さないための不登校対策として、具体的な取組は。
- (3) 中学校部活動の地域移行によって、部活動を受け持っていた教職員は放課後に時間ができる。不登校傾向のある児童生徒への寄り添いの時間に充てることができると思うがどうか。

### 2 市民館跡地の利活用について

- (1) 国の機関集約化について、進捗状況は。
  - (2) 文化会館の大規模改修を受けて、文化小ホールの建設は一旦見直すべきではないか。
- 

## 1 3 土屋晴巳（志高会）

### 1 蛍光灯の製造・輸出入禁止への対応について

- (1) 令和5年11月の水銀に関する水俣条約第5回締約国会議において、一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入を令和9年末までに段階的に禁止とすることが決定された。いわゆる「蛍光灯の2027年問題」である。そこで、以下を問う。
  - ア 対象となる施設や箇所、蛍光灯の数は把握しているのか。
  - イ この問題に対して、市としてどのように対応しているのか。

### 2 学校給食について

- (1) 諸物価の高騰等の影響により、令和6年度に学校給食費が増額改定された。そこで、以下を問う。
  - ア 収納状況に変化はないか。
  - イ 物価高騰に歯止めがかからない中、現在の1食当たりの金額で賄えているのか。
  - ウ 文部科学省が定める学校給食実施基準において、児童生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準が定められている。物価高騰のため、給食1食当たりのカロリーが基準を下回る傾向にあると聞くが、本市の状況はどうか。

### 3 家庭系ごみの排出削減について

- (1) 本市では、「燃やせるごみ」、「容器包装プラスチック・その他プラスチック」、「燃やせないごみ」の3つの指定ごみ袋を導入している。それぞれの年間製作枚数と単価は。
- (2) 令和7年3月に策定された第3次周南市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画では、家庭系ごみの1人1日当たり排出量について、令和5年度の実績値634.4グラムから、中間年

度の令和11年度に599.4グラム、計画最終年度となる令和16年度には582.9グラムまで削減することを目標としている。そこで、以下を問う。

ア 目標値の算出根拠は。また、達成可能な目標設定なのか。

イ 目標達成に向けた具体的な施策は何か。

ウ 排出削減には、市民の理解と協力が必須である。そこで、市民にごみ減量の標語募集を行い、それを市が製作する3種類の指定ごみ袋に印字してはどうか。市民に対するより一層の啓発になると考えるが、市の見解は。

---

## 1 4 江崎加代子（公明党）

### 1 高齢者福祉の支援体制について

(1) 高齢者の見守りについて、以下を問う。

ア もやいネット支援事業者による通報件数は。

イ 緊急通報システムによる通報件数は。

ウ 高齢化率の上昇に伴い、見守り対象者も多くなっている。見守り配食事業についての課題と、今後の対応は。

(2) 高齢者の草刈り等の生活支援について、以下を問う。

ア ニーズの把握はどのように行っているのか。

イ 山間部や島などでサービスが届かないところが出てくるのではないかと考えるが、対策は。

ウ 地域におけるボランティア団体が、活動しやすい環境が必要と思うがどうか。

### 2 部活動の地域移行について

(1) 周南スポーツ活動サポートセンター、周南かるちゃあサポートセンターが、本年4月1日に設置された。そこで、以下を問う。

ア 中学1年生の部活動加入率は。

イ 部活動と地域クラブについての説明は、生徒にどのように行っているのか。

ウ 市内全域での移動も想定されるが、送迎への支援は考えられないか。

(2) 地域クラブの登録団体について、以下を問う。

ア 登録団体は今後増える予定があるか。

イ 今後部活動の時間帯で活動する団体は、増える予定はあるのか。

ウ 登録団体が活動するに当たっては、中学生を受け入れるための初期費用も必要と考える。登録団体への支援は。

エ 市の施設を使う際の電気代や使用料について、登録団体への支援は。

(3) 「しゅうなんコミュニティクラブ（コミクラ）」について、以下を問う。

ア 今年度の実証校と、その内容は。

イ 選択肢の一つが「コミクラ」とのことだが、放課後の時間帯の活動が地域クラブに少ない中では、加入希望者も多くなる可能性も考えられる。生徒数が多くなったときの対応はどうか。

ウ 実証では週1回の実施であったが、開催回数は各学校で決められるのか。

- (4) 周南市文化・スポーツ活動推進協議会について、以下を問う。
- ア 今後の検討内容は。
  - イ 協議会の構成メンバーは男性が多い。女性の参加も必要と考えるがどうか。
- (5) 周南市地域クラブに係る方針について令和8年度までの方針とのことだが、完全移行後の指針についての考えは。
- 

## 15 金子優子（公明党）

### 1 市民を守るまちづくりについて

- (1) 凶悪な強盗事件などから市民を守る取組について、以下を問う。
- ア 防犯カメラの設置に対する考えは。
  - イ 自治会が組織されていない地域などでの防犯灯の設置に対する考えは。
  - ウ 見通しのよい公園の整備を行う必要があると思うがどうか。
  - エ 市民への防犯意識啓発はどのように行っているのか。
  - オ デジタル技術を活用した見守りカメラを導入してはどうか。

### 2 マイナ救急実証事業について

- (1) 今年度、実証事業の開始に至った経緯は。
- (2) マイナ保険証を読み取ることで、どのような情報が得られるのか。また、それを救急現場においてどのように生かせるのか。
- (3) 事業の実施に当たり課題はあるか。

### 3 高齢者バス・タクシー運賃助成事業について

- (1) これまでの助成券申請者数や利用率の推移は。
- (2) 本事業の利便性を高めるため、タクシーでの利用枚数の緩和ができないか。

### 4 赤ちゃんの駅について

- (1) 授乳やおむつ替えに利用できる常設の赤ちゃんの駅は市内に何か所設置しているのか。また、移動式赤ちゃんの駅の年間利用実績は。
- (2) 子育て家庭のニーズに合わせた授乳環境の整備に対して、市からの支援はできないか。
- 

## 16 河井美和子（輝）

### 1 行政評価について

- (1) 行政評価について、以下を問う。
- ア 令和6年度の行政評価結果が公表された。この行政評価を市はどのように活用しているか。
  - イ 年々膨らむ予算を圧縮するためにも、スクラップ・アンド・ビルドの観点でさらに無駄を削減し、予算の1%程度の削減を目標に掲げてはどうか。
  - ウ 見直して削減した事業費を基に、生活に困っている方や、安心安全につながる事業など、市民に還元してはどうか。

### 2 上下水道管路の老朽化対策について

- (1) 上下水道管路の老朽化対策について、以下を問う。

- ア 本市の上下水道インフラにおける管路更新の方針と計画はどうなっているのか。
- イ 上下水道管路の点検・整備についてA Iなどの新技術を取り入れる考えはあるか。

---

## 17 細田憲司（輝）

### 1 敬老の日記念事業について

- (1) 今年3月に市内各地区の社会福祉協議会に対し、令和7年度以降、対象者をこれまでの75歳以上から1歳ずつ段階的に引き上げる説明が行われた。担い手の高齢化や人材不足等が主な要因のようだが、市民の理解は得られたのだろうか。そこで、以下を問う。
- ア 敬老の日記念事業の今後の方向性や意見等を伺うアンケートは、誰を対象に行ったのか。また、関係者にしっかりフィードバックが行われていないのではないか。
- イ 最終的に80歳以上を対象者とするとのことだが、この変更で今年度はどの程度の予算削減となるのか。
- ウ こどもまんなか社会もいいが、今を生きている高齢者は現在の周南市をつくってきた方々である。そうした方々への敬意や感謝の念は。高齢者福祉の基本理念を問う。

### 2 公益財団法人周南市文化振興財団の不祥事と今後の対応について

- (1) 約1億6,000万円もの巨額な不明金が発覚し、いまだに回収できていない。6月の評議員会をもって、理事長、理事全員が辞任することだが、そのことについて、以下を問う。
- ア 市長は、文化振興財団の理事長を辞任することだが、今後は理事長としてではなく、市長として市民の信頼を回復していくという強い思いの表れと考えてよいか。
- イ 市長は自らの責任をどう考えているのか。
- ウ 市民の関心事は不明金の回収である。よって、このことが解決しなければ市民の信頼を回復できない。市として、どのように対応するのか。また、再発防止策は万全か。

---

## 18 藤井直子（日本共産党）

### 1 児童クラブの充実について

- (1) 令和6年6月議会で「児童クラブの外部委託の可能性を研究する」との答弁があったが、現在の状況は。また、全国的に公設公営から公設民営へ移行している傾向があるが、民間活力を導入することについて、懸念がある。次のような場合、市は意見を言えるのか。
- ア 1年生から6年生までの募集が継続できないときは。
- イ 障害児の入所希望があれば、補助員を加配して入所を保障しているが、入所ができないときは。
- ウ 現在、小学校区ごとに児童クラブがあるが、バスによる送迎や、英語や水泳を教えるなど競争が過熱し、小学校区を限定しないクラブができたときは。
- エ 保育料が高額になったときは。
- オ 現在、支援員の募集条件は有資格者となっているが、資格を問わない募集がされたときは。
- カ 民間企業の利益確保のため、労働条件が今より低下したときは。

キ 現在の支援員や補助員の配置基準が守られないときは。

## 2 個人情報の保護について

- (1) 本市において、企業から求人のため高校3年生、大学4年生の情報提供を求められたことはあるのか。
- (2) 奈良県では、自衛官募集の案内が届いた高校生が「どうして自衛隊が自分の名前や年齢を知っているのか」と違法性を感じ、訴訟を提起している。市は、市民のプライバシーを守るべきと考えるがどうか。

## 3 高齢者の補聴器購入助成について

- (1) 令和6年6月議会での一般質問で「他市の事例を参考にして研究する」との答弁があった。全日本年金者組合中央本部の調査によると、令和7年5月10日現在で全国で453市区町村が取り組んでいるとの結果が公表されている。県内では岩国市、下関市に加え、新たに山陽小野田市、光市が制度を開始する予定である。本市でも認知症予防として実施してはどうか。

## 4 小中学校の体育館へのエアコン設置について

- (1) 国は令和6年度補正予算で「空調設備整備臨時特例交付金」を創設した。「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に関する中長期目標」によると、令和17年度までに設置率を95.0%に引き上げる目標である。これを受け、市の考えを問う。

---

## 19 岩田淳司（志高会）

### 1 市民の安心安全に注力したまちづくりについて

- (1) 自転車の適正利用に係る啓発について、以下を問う。
  - ア 現在の市民の自転車利用状況やヘルメットの着用率は。また事故等の発生状況は。
  - イ 令和4年3月の周南市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の公布から、市民にどのような周知、働きかけを行ってきたか。
  - ウ 令和8年から道路交通法施行令などの改正により、自転車利用に関して、より厳罰化が進む予定である。これらを契機に、本市の自転車利用者に対し、交通ルールなどのさらなる周知のため、啓発チラシの発行や、行政や学校を通じた市民や児童生徒、学生向けの講習会などを行う必要があると考えるがいかがか。
- (2) けがや事故などは偶然起きるものではなく、予防できるという考えの下、けがや事故などのデータを科学的に分析し、検証したデータを基にまちづくりに取り組むセーフコミュニティという、WHOの国際認証を伴う施策を進める自治体がある。単課で進められる事業ではなく、市民も巻き込みきちんとPDCAを回す根気強い取組が求められる施策であるが、その効果は目を見張るものが期待できることから、本市でも市民の安心安全の推進や市民との協働機運の醸成のために、この施策をすべきと考えるがいかがか。

---

## 20 渡辺君枝（日本共産党）

### 1 熊毛地域の上水の水温対策について

- (1) 熊毛地域の上水の水温が高いという苦情が多いが、対策ができないか。対策ができない

のなら、夏期の水道料金を下げてほしいとの意見もあるがどうか。

## 2 公共交通について

(1) 周南市地域公共交通計画における公共交通ネットワークの考え方は。

## 3 こどもまんなか社会の実現に向けた取組について

(1) 「こどもまんなか」が実現されていない状況や子育てにおける将来への不安があるという市民の声を聞くが、今後どのように取り組んでいくのか。

## 4 ソレーネ市民農園について

(1) ソレーネ市民農園の今後の整備方針は。

## 5 周南市熊毛勤労者総合福祉センターの改修の進捗状況について

(1) 避難場所にもなることからトイレの改修について、以下を問う。

ア トイレの洋式化は。

イ 和式トイレの手すり設置は。

(2) トレーニングルームの充実について。

ア 近隣にあった民間のトレーニング施設がなくなり、利用者が増え、順番待ち状態だが、機器の故障が続いている。利用者から機器を増やしてほしいとの要望があるがどうか。

(3) どんちょうの設置はどうか。

---

## 2 1 青木義雄（自由民主党周南）

### 1 種苗放流事業について

(1) 一般財団法人新南陽地区漁業振興基金は、所期の目的を達成し解散する。類似団体の一般財団法人徳山地区漁業振興基金も、あと数年で目的を達成する状況にある。そこで、以下を問う。

ア 種苗放流事業は大幅な減少となるが、今後の方針は。

イ 資源管理型漁業を推進していく上で種苗放流事業は不可欠である。資源管理型漁業をどのように推進していくのか、基本的な考えを問う。

ウ 海の生態系に境界はない。他市、県との強固な連携が必要ではないか。

### 2 若者から選ばれる周南市になるために

(1) 周南市役所を選んだ若き職員は、本市の未来を担う貴重な人材であり、大切に大きく育てていかなければならない。そこで、以下を問う。

ア いわゆる五月病の状況にある新入職員はいるか。

イ 若い職員の早期退職者の近年の状況は。

ウ 若い職員の早期退職について、分析と対策は。

エ 若い職員の早期退職による、職員定数適正化の影響は。

---

## 2 2 有田 力（自由民主党周南）

### 1 小中学校の統廃合について

(1) 現状は。

(2) 今後について、どのように考えているか。

## 2 街路樹について

- (1) 剪定の計画はどのようなになっているか。
  - (2) 維持・剪定に係る費用は幾らか。
  - (3) 植樹に対する市の考えを問う。
    - ア イチョウの木についてはどうか。
    - イ 桜の木についてはどうか。
-